

中心市街地活性化・周辺施設連携

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

高知県立図書館・高知市民図書館

| 区分 | 委員及び関係者の意見 | 現状及び課題等 | サービス・取組の方向性 | 実施時期 |
|-----------------------|--|--|--|-------|
| (1) 図書館資料・情報の活用と整備・充実 | 1 ・新図書館の周辺には宿泊施設も多い。宿泊客に利用カードを発行し、資料を借りてもらえれば夜の滞在時間を有効に活用してもらえる。 | 【現状】 ・高知県外の方にも共通利用カードを発行している。 【課題】 ・図書館の団体貸出制度の周知が十分でない。 ・宿泊施設のニーズ把握 | ・図書館のWebサイトやFacebookなどを通じて、サービスの周知を図る。 ・図書館の利用を促すため、関係機関(特に観光)の広報誌などに図書館サービスの情報を掲載してもらうほか、宿泊施設での観光客への情報提供も検討する。 | 開館前から |
| | 2 ・宿泊施設に団体貸出することなども検討してはどうか。 | | ・観光客や宿泊施設が利用しやすいサービスの提供方法を検討する。 | |
| | 3 ・ココプラ(高知県産学官民連携センター)の人材育成事業の講座等において、講師のお薦め本や著書の紹介をして欲しい。 | 【現状】 ・既に行っている事例あり。 【課題】 ・書籍の販売を実施する場合等には、事前の調整が必要。 | ・事前に講師と参加者の情報をいただくことにより、利用者のニーズに合った図書を団体貸出や出前図書館などで提供していく。 | 開館前から |
| | 4 ・(ココプラと連携して)アイデアソン、ビジネスプラン作成、コンテストへの応募といった、アイデアをビジネスに結び付ける過程で、図書館で調査をしたり、データベースを活用して、プランを磨き上げていければ良い。 | 【課題】 ・専門機関との連携・協力体制の構築 ・司書が積極的に専門機関を訪問できる体制の整備 ・支援する司書のレファレンス力の向上 | ・専門機関の行うイベントやセミナーに積極的に参加していく。 ・専門機関からも情報を収集しながら、新聞記事、商圏分析、市場動向等の調査に役立つ資料・データベースを整備・充実させていく。 | 開館前から |
| | 5 ・(ココプラ等が)セミナーを実施する中で、参加予定の方が関連書で事前に学べるようにできないか。 | 【課題】 ・専門機関との連携・協力体制の構築 | ・セミナーの内容等、事前に詳細を確認できる関係づくりを進めていく。 ・どのように展開するのが有効かを関係機関とも検討し、適宜対応していく。 | 開館前から |

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

高知県立図書館・高知市民図書館

| 区分 | 委員及び関係者の意見 | 現状及び課題等 | サービス・取組の方向性 | 実施時期 |
|-----------------------|------------|--|---|---|
| (1) 図書館資料・情報の活用と整備・充実 | 6 | ・図書館の中に「私の本棚」のようなコーナーをつくるのはどうか。本を通じて、紹介者を知るきっかけになるし、図書館に足を運んでもらうきっかけにもなる。 【課題】 ・展示場所や方法の検討 | ・多様な分野の人に本を紹介してもらえるように積極的に働きかけていく。 ・展示された本は図書館のWebサイト等でも、広く紹介していく。 | 開館時 |
| | 7 | ・「まちなか図書館」の本は店舗に関する本、好みの本を集める、といったイメージなのか。 | ・一定期間図書館の本を貸し出す方向で今後詳細を検討していく。 ・中心市街地活性化に寄与するため、商店街組合等と連携しながら、できるだけ双方に負担のない仕組みを検討する。 | 開館前から |
| | 8 | ・「まちなか図書館」の取組に先がけて、店で販売しているものに特化した図書館の本を数冊置いてみた。今後、郷土や観光の資料も置いてみたい。近隣でそういう取組をする店が増えていけば、図書館の利用増につながるのではないか。 | | |
| | 9 | ・地理案内は最大の観光情報。周辺の観光案内、地理案内は詳しく話せるように自発的な情報収集をお願いしたい。さらに詳しい情報を求められたら、「とさてらす」につないでもらえれば良い。 ・観光部門だけでなく、他の部門が作成しているパンフレットも収集を。アンテナを張って、情報収集してほしい。 | 【現状】 ・観光パンフレットを一部配布している。 【課題】 ・様々な関係機関との連携・協力体制の構築 ・関係機関に向けた「図書館で配布する」ことの情報発信 | ・関係機関と情報共有・連携しながら、幅広く情報を収集していく。 ・作成したパンフレット等を納めてもらえるよう、関係機関や行政機関等に積極的に呼びかけていく。 |
| (2) 連携・協力してできること | 10 | ・大学図書館との連携はどうなっているか。学生が本を探す際に、公共図書館の本も探せるような仕組みになっているか。 【現状】 ・横断検索システムにより蔵書検索が可能。 ・県立図書館は、大学図書館等と協定を結んでおり、相互貸借が可能。 【課題】 ・検索や貸出しサービスの更なる周知 | ・時間やルールの制約は一定あるが、相互貸借システムなども活用しながら、利用者のニーズに応えていく。 ・公共図書館や大学図書館だけでなく、資料の貸借ネットワークを検討する。 | 開館前から |

中心市街地活性化・周辺施設連携

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

高知県立図書館・高知市民図書館

| 区分 | 委員及び関係者の意見 | 現状及び課題等 | サービス・取組の方向性 | 実施時期 | |
|-----------------|------------|--|--|--|-------|
| (2)連携・協力してできること | 11 | ・観光客への総合的な情報提供ができないか。 | 【現状】 ・観光パンフレットなどの配布 【課題】 ・パンフレットなどの確実な収集 ・定期的な情報の更新が必要 | ・新図書館1階にパンフレット等を配置し、観光情報の積極的な発信につなげる。 ・新図書館1階の総合案内の有効的な活用を検討する。例えば、観光ボランティアの配置等、今後、担当部署と協議していく。 | 開館時 |
| | 12 | ・エスコーターズの図書館版ができないか。案内、イベント企画、運営に学生を活用してもらいたい。地域活動に参加することで、学生は単位が取得できる。 | 【課題】 ・オーテピア全体での学生を受け入れるルールづくり ・学生と連携する取組についての検討 | ・各大学等と協議をしながら、検討していく。 | 開館後 |
| | 13 | ・図書館関係のイベントやセミナーだけでなく、他の業界の研修にも参加し、司書の守備範囲の拡大を図って欲しい。 ・司書で提供できるもの以上を利用者に求められた時に相談できるよう、図書館と諸機関の連携を考える必要がある。 | 【現状】 ・図書館と専門機関が連携した取組ができるように、関係づくりに努めている。 | ・専門機関のセミナーや講演会への参加、訪問、合同勉強会の実施等により、専門機関に信頼され、連携・協力した取組ができる司書を育成する。 | 開館前から |
| | 14 | ・今回繋がる機会ができたので、今度は図書館のほうから商店街やエスコーターズの会に出ることで、もっといろんな意見をきくことができるのではないか。 | | ・連携・協力関係を継続・発展させていけるよう、会合への出席も含めて、図書館が外に出ていくような機会をつくる。 | 開館前から |
| | 15 | ・「まちゼミ」への参加は、商店街の施設の1つとして、横のつながりをつくれて良いのではないか。 | 【現状】 ・「まちゼミ」の関連図書の展示やチラシの配布を実施 | ・広報支援を継続して実施するとともに、図書館も商店街の一施設として参加することで、中心市街地活性化に寄与できるよう、図書館だからこそできる内容を検討する。 | 開館時 |

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

高知県立図書館・高知市民図書館

| 区 分 | 委員及び関係者の意見 | 現状及び課題等 | サービス・取組の方向性 | 実施時期 |
|--------------------------------|---|--|---|-------|
| (2)連携・協力してできること | 16 ・9月には「高知お城下文化施設の会」、通称「お城下ネット」が発足される予定。県立図書館、市民図書館、高知みらい科学館、高知城歴史博物館等、高知市中心部の8つの施設が相互に連携・協力して、各施設の利用促進と高知市中心部の活性化に文化面から寄与することを目的としている。 | 【課題】 ・各施設間における継続的な情報交換 | ・「高知お城下文化施設の会」を発足し、参加各施設と積極的に連携した事業展開を図り、中心市街地活性化に寄与していく。 | 開館前から |
| (3)新図書館スペース・設備等の活用、新図書館を活用したPR | 17 ・観光客と地元の方の会話が自然にできる出会いの場ができないか。ガイドブックではなく、たまたまそこに居る地元の方から聞いた観光情報は貴重。 | 【課題】 ・関係機関との連携 | ・関係機関と連携しながら、「土佐弁講座」「日曜市講座」「ひろめ市場講座」など開催方法等を検討していく。 | 開館時 |
| | 18 ・場所も立地も良いので、かなり広告に使える。図書館が一企業のPRをしては駄目という従来の発想ではなく、いろいろ考えて欲しい。 | 【課題】 ・施設利用のルールづくり ・屋外広告物設置条例等の制約 | ・関係機関用のコーナー設置を通じた企業PR支援等の方法について検討していく。 | |
| | 19 ・書架の側面を利用した県外・県内客向けの展示はできないか。側面を辿っていくと、まちの散策ができるような。 | 【課題】 ・側面の有効活用についての検討 | ・図書館全体のスペースを活用した展示の方法等を検討していく。 ・市民図書館では、古い県内の写真約8万点を所蔵しており、その活用も検討する。 | |
| | 20 ・Wi-Fiを活用して、商店街の情報、観光情報等の発信ができればいいのではないか。 ・図書館に入った時点で、プッシュ広告が届く、利用者の貸出履歴を元に新刊本やお薦め本の紹介をする等の仕組みがあれば、「商店街から図書館、図書館から商店街」の人の流れをつくることのできるのではないか。 | 【課題】 ・プライバシーの保護 | ・プライバシーに配慮したうえで、新図書館のWi-Fi機能を使った情報提供の可能性について関係機関と協議していく。 ・利用者情報に紐づかない貸出統計を活用し、OPACでの検索時に関連本等の情報を提供することを検討していく。 | |

中心市街地活性化・周辺施設連携

高知県立図書館・高知市民図書館

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

| 区 分 | 委員及び関係者の意見 | | 現状及び課題等 | サービス・取組の方向性 | 実施時期 |
|--------------------------------|------------|--|---|---|-------|
| (3)新図書館スペース・設備等の活用、新図書館を活用したPR | 21 | <ul style="list-style-type: none"> ・1階エントランスで商店街や日曜市の情報を発信とあるが、その他の情報発信もできればありがたい。 ・パンフレット設置のような簡易なもの他に、デジタルサイネージのような電子端末を使ってみてはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> 【現状】 ・パンフレットの配布 【課題】 ・情報の収集方法と管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、日曜市に限らず、様々な情報を発信していく。 ・商店街のイベントや観光情報等の発信の方法について、デジタルサイネージを含め、様々な広報媒体の活用を関係機関と協議していく。 | 開館時 |
| (4)図書館サービスの周知・PR | 22 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひろめ、おびさんロード、中央公園などまちの中にある掲示板に、図書館の情報を出してもらいたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 【課題】 ・掲示場所及び各掲示板のルール of 把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に利用ルールを確認しながら、図書館の情報を積極的に発信していく。 | 開館前から |